

ふかまちのまど

第一九七号 一〇年十一月一日
発行元 深町連合町内会
連絡先 六三三三八二

連合町内会活動報告

深町敬老会 (九月二十日)

連合町内会
会長 中村 純

恒例の深町敬老会を、敬老の日に深小学校屋内運動場で十日三十分から開催しました。敬老者(七五才以上)の方々は一六五名、この内五七名の参加がありました。参加された方の記念写真に始まり、来賓祝辞を頂き、来賓紹介、引き続き祝宴に入りました。



演芸発表で第一部、幼稚園児の「山寺のおしょうさん」、小学校一、二年生の「じよいふる」それぞれ楽しかったです。次に女性会による踊り、「憧れのハワイ航路」外二曲は出席者の皆様には懐かしく感じられたと思います。第二部は、大正琴演奏(琴成流三原)、「青い山脈」外七曲、アンコールを入れて十一曲演奏して下さいました。最後に全員の合唱「故郷」で締めくくりました。

長寿の皆様方には、これからもお元気で過ごして下さい。そして又お会いしましょう。関係者の皆様、役員の皆様大変有り難うございました。

三原市民 体育大会のご案内

連合町内会体育部長 寺田 弘

十月十日(日)、三原市恒例の三原市民体育大会が三原運動公園にて開催されます。勤務、農作業等で色々ご多忙と存じますが、たまには気分転換にスポーツを楽しまれてはいかがでしょうか。弁当、飲み物など充分に用意しておきます。万障お繰り合わせの上、ご近所、ご家族打ち揃って競技に応援に多数のご参加をよろしく願います。

送迎バス発着時刻
(往) 深下組 七時四十分発車
現地着 八時二十分
(復) 会場 十五時三十分発車
なお、三原駅前うきしろ広場より会場まで臨時バス(無料)が八時二十分より十五分おきに運行されます。(芸陽バス)

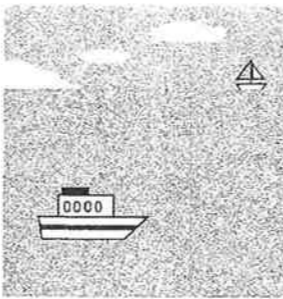
※役員以外の方は出来る限りバスをご利用下さい。
本大会は小雨決行です。(万一中止の場合は、当日六時すぎ、町内放送を致します。)

深小だより

深小学校長 山本 恵司

沖繩県・尖閣諸島周辺の日本領海内で海上保安庁の巡視船に中国漁船が衝突した事件をめぐり、中国では反日感情が高まりデモが拡大しているようです。

琉球民族に知られており、大正十九世紀後半から赤久米島と呼ばれるようになった。また、尖閣諸島の名称は、欧米諸国が通商の目的で来航した軍艦が作成した海図や水路誌に記述されています。地味な地域として国際法上の無主地だとして琉球藩が廃止されて沖繩県となり、内務省はこれを主張されておらず無主地であるとして、明治二十八年に先占論に決定しました。以来、尖閣諸島は日本の領土になったのだそうです。



そして、昭和四十三年に国連の海洋調査団が、この海域の海底調査を行った結果を、昭和四十四年に国連アジア極東経済委員会によって、この海域に膨大な海底資源(石油)が眠っていることが明らかにされたこと、一躍脚光を浴びるようになった。台湾や中国がこの尖閣諸島は自国の領土であると主張するようになり、領土紛争の発端となっているようです。

皮肉にも、中国のことわざに「人知らずしていきどおらず、また、君子ならずや」という言葉があります。これは「真意を分かってもおぼえないこと、人前においてはまああるものだが、そんな時でも、冷静で、怒んできると言ったりしない人こそ、君子と言つてよい」という意味です。膨大な海底資源に目が眩み、お互いが領土を主張し我欲を通すと、問題はいつまでたっても解決しません。

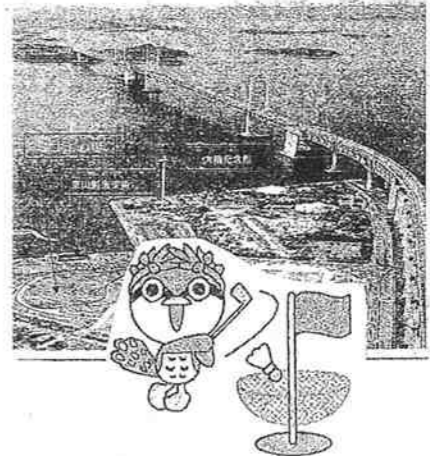
国と国との問題に関わらず、私たちの身のまわり、つまり、家庭や職場や友人関係において、意見の対立はつきものです。信念を持つことは大切ですが、我欲に走り私利私欲ばかり考え

「ふかまちのまど」 ホームページのアドレスは
<http://www.jcat.ne.jp/~fuka/top.html>

ターゲット・バードゴルフ (T・B・G) 中・四国大会出場!!

上組 天木 雅之

第八回中・四国プロックT・B・G大会が九月五日(日)、香川県坂出市番の州緑町・瀬戸大橋記念公園T・B・G場において開催されました。



各県より選抜の選手が百八十名参加して、修了しました。深町の二名が連日猛暑の中、早朝より初めに参加しました。上りの初めは強くなりました。また、大変な高さを痛感した。他の団体(高崎修さん談)は、他は是非交流もでき、力なす。是非交流もでき、力なす。是非交流もでき、力なす。

子ども会だより

三原市子ども会球技大会

子ども会会長 松本雅志

九月十二日、秋晴れの中、三原市子ども会球技大会が開かれました。深町ソフトボールクラブも参加しました。



一回戦、三原小東部連合Aチームと対戦しましたが、敗退しました。十月には六年生は最後の公式戦となる防犯球技大会があります。練習試合を続けています。練習、随時、部員も募集中です。練習、随時、部員も募集中です。練習、随時、部員も募集中です。

深町子どもを守る会

子どもを みんなで守りましょう

深小の子どもは 午後四時頃 下校します。 ※日によって、異なることがあります。

近くで、遠くで、みんなで見守りましょう。 あいさつ、声かけをしましょう。

深町各種団体十月行事予定

- ◆連合町内会 十日
- ▼市民体育大会参加
- ◆下組町内会 二四日
- ▼親睦旅行(君田温泉)
- ◆小学校・幼稚園
- ▼遠足
- ▼びよびよハウス
- ▼公開研究会 十三日
- ▼陸上記録会 十四日
- ▼放課後子ども教室 二十日
- ▼お楽しみ会 二六日
- ▼クラブ活動 二七日
- ▼弁論大会 三十日
- ◆如水館中学・高校
- ▼舞台芸術定期発表会 九日
- ◆創立七十周年記念行事 (ポポロ) 十日
- ▼進路ガイダンス(二年) 十三日
- ▼中間試験(中学) 十八日
- ▼中間試験(高校) 十八日
- ▼生徒保護者対象入試説明会 (高校) 二四・三一日
- ▼児童保護者対象入試説明会 (中学) 二四・三一日
- ▼校内大会 二八日

神話伝説の野見宿禰(のみのすくね)が相撲の神様と言われ、相撲は神代の昔から行われたようです。昭和二十年代後半半頃、市内西宮町にある西宮神社で大相撲や国体の相撲が開かれ、これを深小学校から見に行つたことがありました。力士の巨体に見張り、びっくりし、感動しました。痩せて小さい体の自分には、力士の体はまさに憧れの的となりました。

当時は、相撲の人氣は相当なものでした。深小学校の校庭の隅には土俵が作られていて、秋には全校相撲大会がありました。昭和四十年代には天才横綱大鵬の人氣は絶大で、子どもの好きなのは「巨人・大鵬・玉子焼き」の流行語も生まれました。人氣のあつた相撲も、昨今の横綱の品格問題、弟子への暴行事件、野球賭博事件等が続発し、相撲人氣は急降下しているようです。なお、相撲には行司がいます。行司の役割は、相撲の最高位である立行司は腰に短刀を差しています。この短刀は勝負の判定を誤った(差し違え)ときは、この短刀で切腹して詫言るためのものだといわれています。それほどに行司の判定は絶対的であり、真剣であるといふことでも、本来、力士も行司も真剣そのものの戦いです。今、大相撲は本来の姿を取り戻すため、大きな改革を迫られました。一方、日本の色々な事件や世相を見ると、「自分だけ良ければよい」という風潮が蔓延しつつあるような気がします。今こそ大相撲に限らず、皆で真剣に人間本来の姿(思いやり・助け愛)を考え、取り戻す時期にきているのかもしれない。

